

【本編】

宮古市立保育所等適正配置計画（素案）について

保健福祉部 こども家庭センター

I 全体計画

(令和 8 年度～令和 17 年度)

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の趣旨

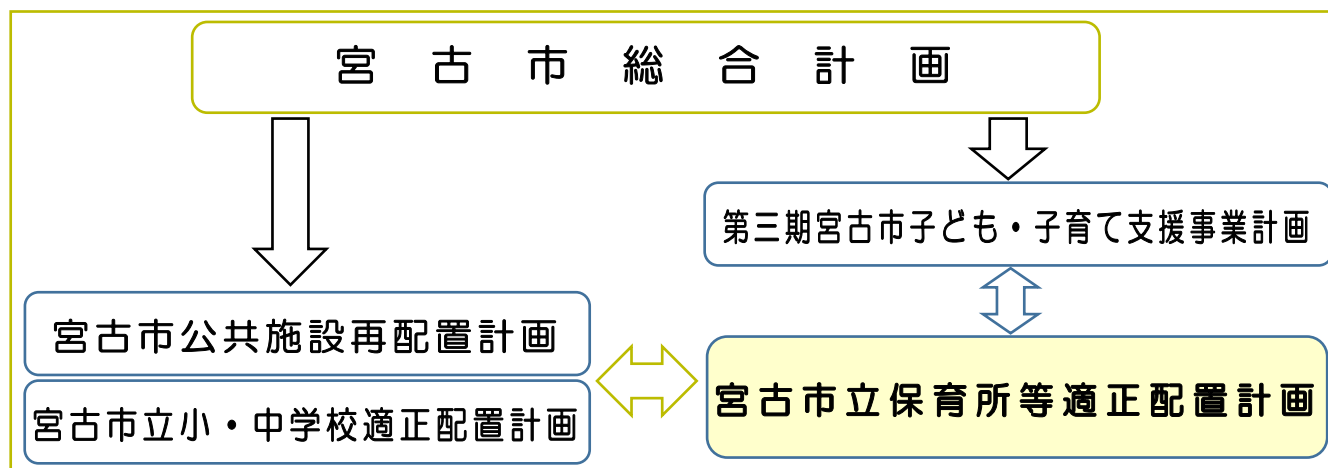
- ・本市は、市立保育所等のあり方を示す計画として「宮古市立保育所等適正配置計画」を策定。
- ・現行計画の計画期間は、本年度が最終年度であり、保育施設の現状や人口の将来的な見通しを踏まえ、見直しを行う。
- ・今回の見直しに合わせて、学童の家のも計画に加える。

（基本理念）

第3条（3）子どもが自らの発達段階に応じた学び又は遊びを通じて、豊かな人間関係を育み、主体的に社会に参加することができるよう環境が整備されること。

2 計画の位置付け

- ・各種計画及び「宮古市こども条例」との整合性を確保するとともに、多様化する保育ニーズや持続可能なまちづくりに対応した計画とする。



3 計画の構成及び期間

(1) 全体計画

①内容…人口推移、入所状況の推移を踏まえ、適正配置の全体像を示す

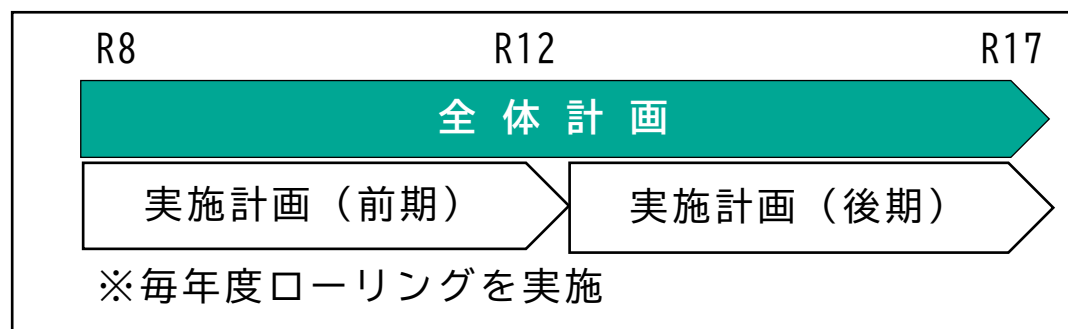
②期間…令和8年度から17年度の10年間（12年度に中間見直し）

(2) 実施計画

①内容…着手すべき具体的な内容を示す

②期間…前期：令和8年度から12年度までの5年間

後期：令和13年度から17年度までの5年間



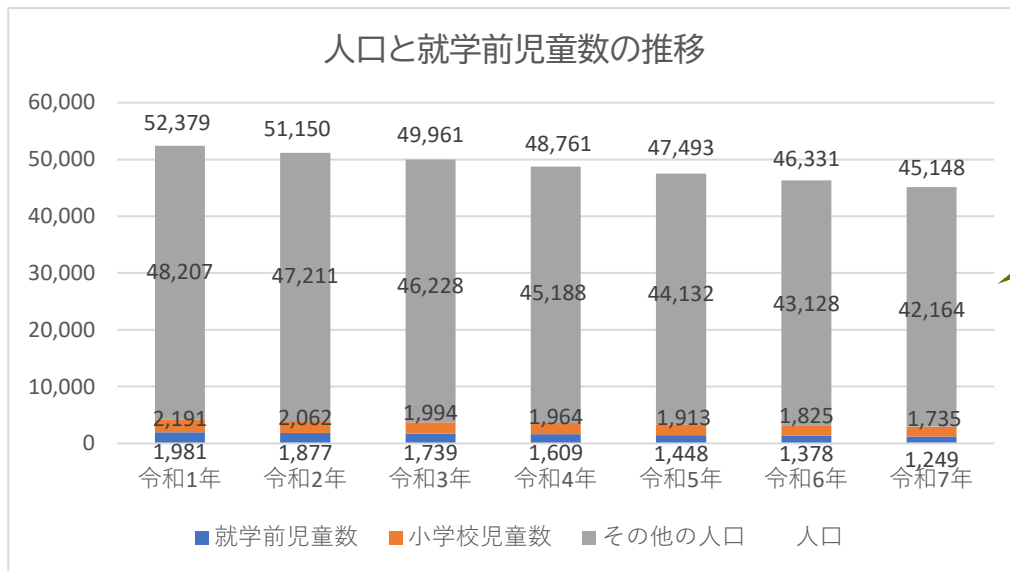
4 用語の定義

保育所等適正配置計画にかかる用語の定義を示す

第2章 人口の状況

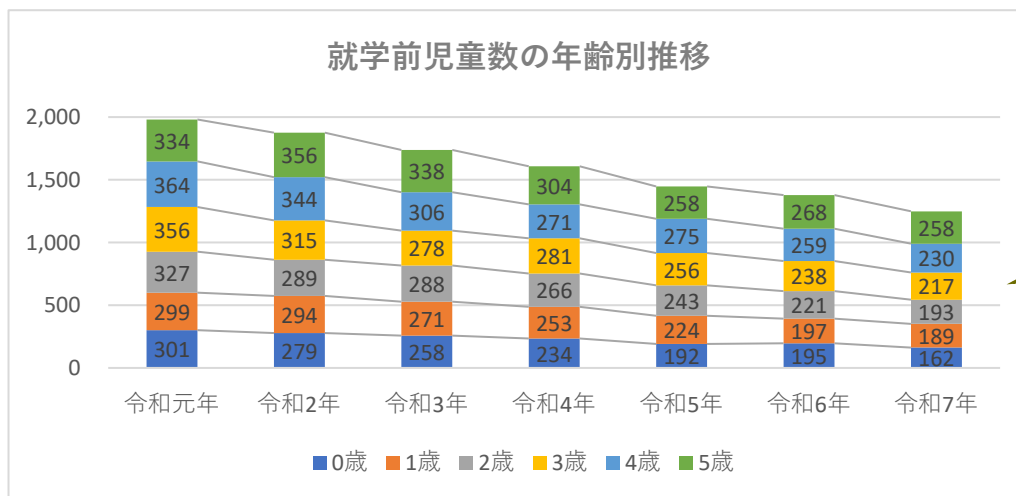
1 人口の推移

・ R1～R7 総人口：約 13.8%の減少、就学前児童数：約 36.9%の減少



資料：宮古市年齢別人口調べ（各年4月1日）

令和元年度と令和7年度の比較では、総人口が約13.8%、就学前児童数が約36.9%それぞれ減少

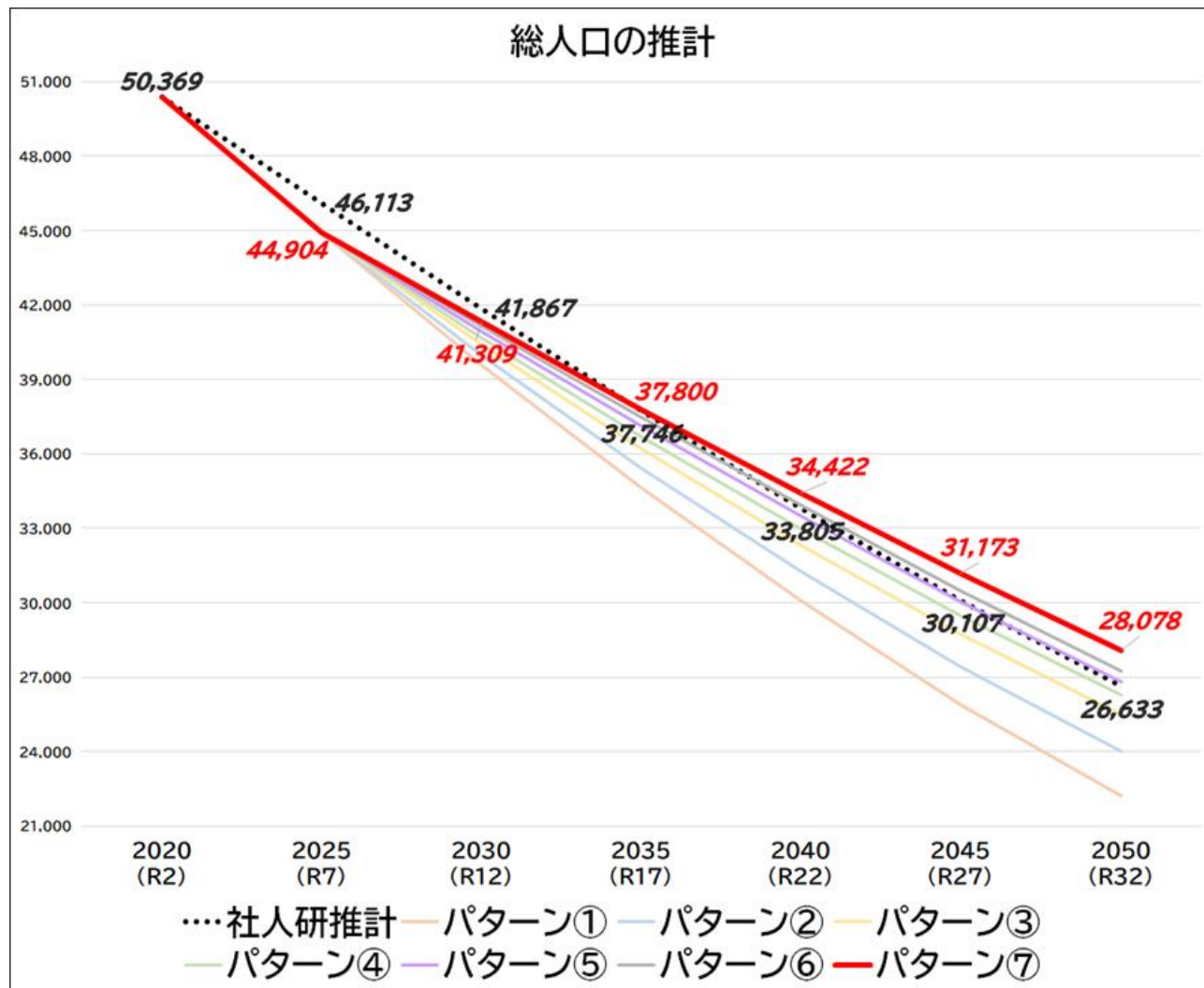


資料：宮古市年齢別人口調べ（各年4月1日）

就学前児童数は、各年齢すべて減少

2 将来人口の推計

- ・宮古市では「パターン⑦」を人口目標値として、人口減少の抑制を図るものとしている。



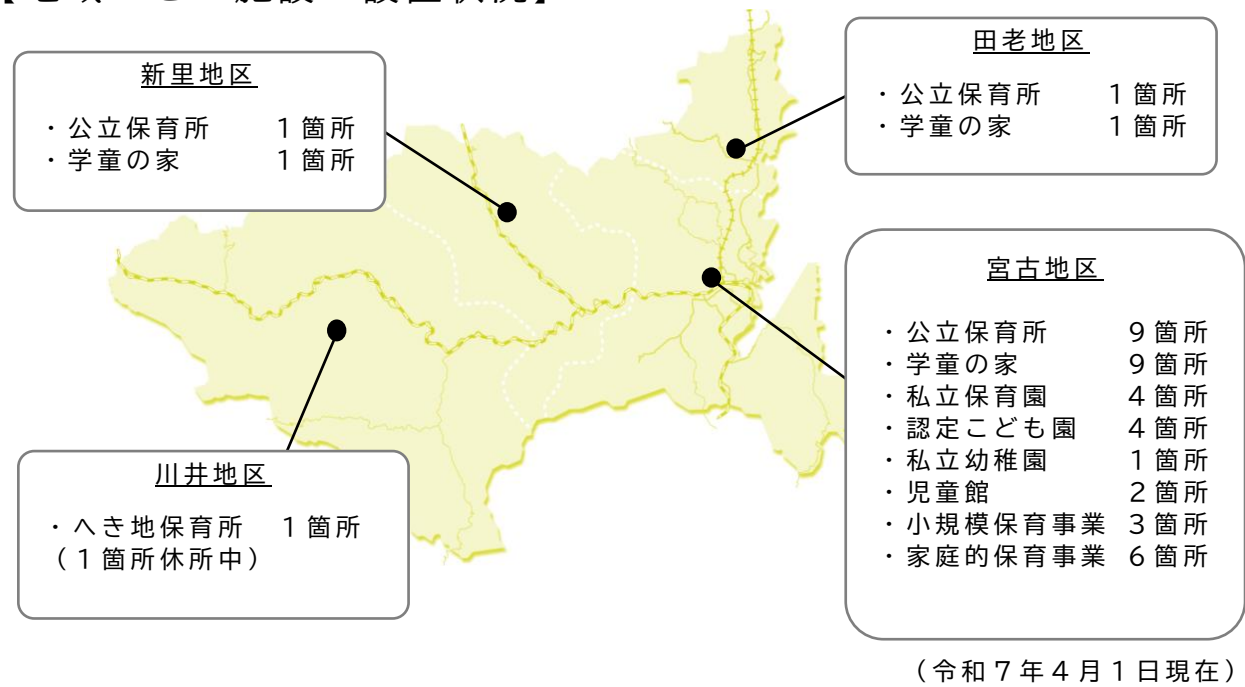
将来人口推計は、
人口、就学前児童
数ともに減少が見
込まれる

「宮古市総合計画（R7～R11）第7 人口ビジョン」より抜粋

第3章 現状と課題

1 施設の設置状況

【地域ごとの施設の設置状況】



	保育所 保育園	認定 こども園	幼稚園	児童館	小規模 保育 事業所	家庭的 保育 事業所	学童 の家	計
宮古地区	13	4	1	2	3	6	9	38
田老地区	1	0	0	0	0	0	1	2
新里地区	1	0	0	0	0	0	1	2
川井地区	1 (ハキ地)	0	0	0	0	0	0	1
計	16	4	1	2	3	6	11	43

2 就学前児童数の状況

(1) 保育所における入所児童数及び小学校区内入所児童の割合等

【市立保育所】

	施 設 名	小学校区	入所 児童 数	小学校区内		小学校区外	
				人数	割合	人数	割合
1	田老保育所	田老第一小学校	42	39	92.9%	3	7.1%
2	磯鷄保育所	磯鷄小学校	36	33	91.7%	3	8.3%
3	津軽石保育所	津軽石小学校	34	31	91.2%	3	8.8%
4	崎山保育所	崎山小学校	41	37	90.2%	4	9.8%
5	千徳保育所	千徳小学校	56	48	85.7%	8	14.3%
6	山口保育所	山口小学校	38	30	78.9%	8	21.1%
7	花輪保育所	花輪小学校	41	31	75.6%	10	24.4%
8	佐原保育所	鍬ヶ崎小学校	24	17	70.8%	7	29.2%
9	新里保育所	新里小学校	26	17	65.4%	9	34.6%
10	小山田保育所	磯鷄小学校	79	33	41.8%	46	58.2%
11	愛宕保育所	宮古小学校・鍬ヶ崎小学校	10	3	30.0%	7	70.0%
	合 計		427	319	74.7%	108	25.3%

令和7年4月1日現在

市立保育所では、愛宕保育所、小山田保育所及び新里保育所以外は、入所児童の7割以上が小学校区内児童である

【私立保育園】

	施 設 名	小学校区	入所 児童数	小学校区内		小学校区外	
				人数	割合	人数	割合
1	いずみ保育園分園	千徳小学校	31	21	67.7%	10	32.3%
2	いずみ保育園	千徳小学校	50	24	48.0%	26	52.0%
3	常安寺保育園	宮古小学校	44	9	20.5%	35	79.5%
4	宮古保育園	宮古小学校	40	16	40.0%	24	60.0%
	合 計		165	70	42.4%	95	57.6%

一方で、私立保育園では、小学校区外児童が多い傾向

令和7年4月1日現在

(2) 教育・保育施設の状況

【就学前児童数と保育施設への入所児童数】

年度	就学前 児童数	保育所 保育園	へき地 保育所	認定こ ども園	幼稚園	児童館	小規模保 育事業所	家庭的保 育事業所	認可外 保育所	合 計	入所率
R3	1,736	693	12	488	66	34		10	51	1,354	78.00%
R4	1,609	662	7	449	61	28	5	7	35	1,254	77.94%
R5	1,448	617	5	403	59	19	13	13	40	1,169	80.73%
R6	1,378	620	5	386	50	14	13	22	27	1,137	82.51%
R7	1,249	592	2	334	49	14	19	25	16	1,051	84.15%

資料：こども家庭センター調べ（各年4月1日）

就学前児童の保育施設への入所率は、増加傾向である
しかし、母数の減少に伴い、入所児童数は、減少が続いている

(3) 小学校区ごとの保育施設及び就学前児童数の状況

(単位：人)

小学校区	学区内の 保育施設	保育施設 の定員数	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年						
											6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
宮古小学校	愛宕保育所	45	189	189	169	152	137	126	135	114	21	22	21	13	19	18
	常安寺保育園	50														
	宮古保育園	56														
	小百合幼稚園	48														
鍬ヶ崎小学校	愛宕保育所	45	126	126	119	110	97	80	81	66	9	14	9	11	9	14
	佐原保育所	70														
磯鷄小学校	小山田保育所	120	296	296	281	271	251	228	216	182	36	36	27	35	28	20
	磯鷄保育所	45														
	そけい幼稚園	75														
山口小学校	山口保育所	45	237	237	224	198	185	163	147	142	32	23	24	25	18	20
	宮古ひかり	120														
	あかまえこども園分園	10														
	(田代児童館)	30														
千徳小学校	千徳保育所	60	446	446	438	410	391	350	330	311	67	59	53	43	47	42
	いずみ保育園	50														
	いずみ保育園分園	35														
	宮古泉幼稚園	150														
高浜小学校	(高浜児童館)	50	45	45	39	38	35	24	20	15	3	2	3	1	5	1
花輪小学校	花輪保育所	45	134	134	124	130	114	111	99	82	15	14	19	14	13	7
津軽石小学校	津軽石保育所	45	127	127	109	96	93	87	81	79	15	19	11	11	9	14
	あかまえこども園	49														
重茂小学校	(重茂児童館)	80	54	54	56	51	46	45	38	40	9	6	6	9	3	7
崎山小学校	崎山保育所	60	146	146	146	135	128	122	121	117	29	18	23	18	19	10
小 計	宮古地区	1,383	1,800	1,800	1,705	1,591	1,477	1,336	1,268	1,148	236	213	196	180	170	153
田老第一小学校	田老保育所	70	85	85	73	69	63	60	58	52	9	13	9	6	10	5
小 計	田老地区	70	85	85	73	69	63	60	58	52	9	13	9	6	10	5
新里小学校	新里保育所	70	67	67	73	53	44	30	34	32	11	2	7	3	7	2
小 計	新里地区	70	67	67	73	53	44	30	34	32	11	2	7	3	7	2
川井小学校	小国保育所	30	35	35	24	24	19	20	18	15	1	1	3	5	3	2
	門馬保育所	30														
小 計	川井地区	60	35	35	24	24	19	20	18	15	1	1	3	5	3	2
合 計		1,583	1,987	1,987	1,875	1,737	1,603	1,446	1,378	1,247	257	229	215	194	190	162
前 年 比					▲ 112	▲ 138	▲ 134	▲ 157	▲ 68	▲ 131						

就学前児童数は減少傾向が続いており、令和7年においては、各年齢の児童数が一桁となる小学校区は半数以上となっている

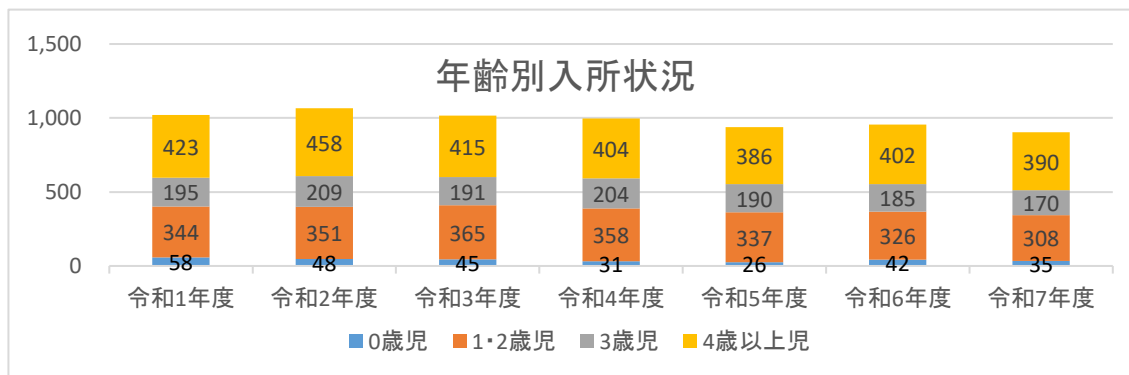
資料：宮古の教育（各年5月1日現在）

- ・磯鷄小学校については、令和元年までは、磯鷄小学校と藤原小学校の合計数
- ・山口小学校については、令和2年までは、山口小学校と亀岳小学校の合計数
- ・津軽石小学校については、令和3年までは、津軽石小学校と赤前小学校の合計数

ア 保育施設における入所児童数等の推移

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
市立保育所	施設数	11	11	11	11	11	11	11
	利用定員	690	705	705	705	705	705	675
	児童数	537	537	494	474	443	440	427
	入所率	77.8%	76.2%	70.1%	67.2%	62.8%	62.4%	63.3%
私立保育園	施設数	4	4	4	4	4	4	4
	利用定員	195	201	201	201	201	201	191
	児童数	218	204	199	188	174	180	165
	入所率	111.8%	101.5%	99.0%	93.5%	86.6%	89.6%	86.4%
私立 認定こども園 (保育対応部分)	施設数	5	5	5	5	5	5	5
	利用定員	289	329	329	339	355	335	310
	児童数	274	315	313	323	296	300	267
	入所率	94.8%	95.7%	95.1%	95.3%	83.4%	89.6%	86.1%
地域型 保育事業所 (小規模保育 事業・家庭 的保育事業)	施設数	2	2	2	4	5	7	9
	利用定員	10	10	10	25	33	56	74
	児童数	6	10	10	12	26	35	44
	入所率	60.0%	100.0%	100.0%	48.0%	78.8%	62.5%	59.5%
合 計	施設数	22	22	22	24	25	27	29
	利用定員	1,184	1,245	1,245	1,270	1,294	1,297	1,250
	児童数	1,035	1,066	1,016	997	939	955	903
	入所率	87.4%	85.6%	81.6%	78.5%	72.6%	73.6%	72.2%

令和7年度の保育施設全体の
入所率は、約72%



資料：こども家庭センター調べ（各年4月1日）

イ 幼児教育施設の状況

・利用定員数：R3～R7で半減

		R2	R3	R4	R5	R6	R7
小百合幼稚園	利用定員	90	90	75	75	60	48
	児童数	76	66	61	59	50	49
	入園率	84.4%	73.3%	81.3%	78.7%	83.3%	102.1%
認定こども園 そけい幼稚園 (幼稚園部分)	利用定員	80	80	60	45	45	25
	児童数	71	71	43	38	31	19
	入園率	88.8%	88.8%	71.7%	84.4%	68.9%	76.0%
認定こども園 宮古泉幼稚園 (幼稚園部分)	利用定員	80	80	60	60	35	25
	児童数	61	55	41	29	29	22
	入園率	76.3%	68.8%	68.3%	48.3%	82.9%	88.0%
認定こども園 宮古ひかり (幼稚園部分)	利用定員	61	61	61	45	45	35
	児童数	50	46	40	36	24	20
	入園率	82.0%	75.4%	65.6%	80.0%	53.3%	57.1%
認定こども園 あかまえこども園 (幼稚園部分)	利用定員	3	9	9	9	9	9
	児童数	3	3	2	4	2	6
	入園率	100.0%	33.3%	22.2%	44.4%	22.2%	66.7%
合 計	利用定員	314	320	265	234	194	142
	児童数	261	241	187	166	136	116
	入園率	83.1%	75.3%	70.6%	70.9%	70.1%	81.7%

資料：こども家庭センター調べ（各年4月1日）

幼児教育施設の利用定員数は、令和7年度142人であり、令和3年度と比較して、半減している。

ウ ヘキ地保育所の状況

		R2	R3	R4	R5	R6	R7
小国保育所	定員	30	30	30	30	30	30
	児童数	12	12	7	5	5	2
	入所率	40.0%	40.0%	23.3%	16.7%	16.7%	6.7%

資料：こども家庭センター調べ（各年4月1日）

ヘキ地保育所の児童数は、令和7年度2人である。

エ 児童館（未就学児利用）の状況

		R2	R3	R4	R5	R6	R7
重茂児童館	定員	80	80	80	80	80	80
	児童数	32	34	28	19	14	14
	入所率	40.0%	42.5%	35.0%	23.8%	17.5%	17.5%
高浜児童館	定員	50	50	50	50	50	50
	児童数	0	0	0	0	0	0
	入所率	0%	0%	0%	0%	0%	0%
田代児童館	定員	30	30	30	30	30	閉園
	児童数	0	0	0	0	0	
	入所率	0%	0%	0%	0%	0%	
合 計	定員	160	160	160	160	160	130
	児童数	32	34	28	19	14	14
	入所率	20.0%	21.3%	17.5%	11.9%	8.8%	10.8%

※定員は未就学児以外の利用も含めた数

資料：こども家庭センター調べ（各年4月1日）

高浜児童館は、未就学児の利用登録が無い状況が続いている。

オ 小規模保育事業者の状況

		R2	R3	R4	R5	R6	R7
ククナの家 (R4～)	定員			10	13	15	15
	児童数			5	13	13	6
	入所率			50.0%	100.0%	86.7%	40.0%
みいつけた (R6～)	定員					16	16
	児童数					0	13
	入所率					0.0%	81.3%
かきのき 保育園 (R7～)	定員						13
	児童数						0
	入所率						0.0%
合 計	定員			10	13	31	44
	児童数			5	13	13	19
	入所率			50.0%	100.0%	41.9%	43.2%

資料：こども家庭センター調べ（各年4月1日）

小規模保育所は現在3施設が運営されている。待機児童解消を目的とした開設準備補助制度を開始した平成30年3月以降、設置が進んでいる。

待機児童数は、ここ数年、「0」が続いており、補助制度の見直しの検討が必要である。

カ 家庭的保育事業所の状況

		R2	R3	R4	R5	R6	R7
ククナの家 (H31～R3)	定員	5	5				
	児童数	5	5				
	入所率	100.0%	100.0%				
つくしんぼ (H30～)	定員	5	5	5	5	5	5
	児童数	5	5	5	3	4	5
	入所率	100.0%	100.0%	100.0%	60.0%	80.0%	100.0%
ぶどうのき (R4～)	定員			5	5	5	5
	児童数			2	5	5	3
	入所率			40.0%	100.0%	100.0%	60.0%
ぼかぼか てらす (R4～)	定員			5	5	5	5
	児童数			0	4	4	4
	入所率			0.0%	80.0%	80.0%	80.0%
いちご ハウス (R5～)	定員				5	5	5
	児童数				1	5	5
	入所率				20.0%	100.0%	100.0%
こぐま ハウス (R6～)	定員					5	5
	児童数					4	5
	入所率					80.0%	100.0%
保育室 モアニ (R7～)	定員						5
	児童数						3
	入所率						60.0%
合 計	定員	10	10	15	20	25	30
	児童数	10	10	7	13	22	25
	入所率	100.0%	100.0%	46.7%	65.0%	88.0%	83.3%

資料：こども家庭センター調べ（各年4月1日）

家庭的保育事業所は、現在
6施設が運営されている。
待機児童解消を目的とした
開設準備補助制度を開始し
た平成30年3月以降、設置
が進んでいる。

待機児童は、ここ数年、
「0」が続いており、補助
制度の見直しの検討が必要
である。

(3) 学童の家・児童館（小学生利用）の状況

【学童の家等への入所児童数】

年度	小学校 児童数	学童の家	児童館	放課後 こども教室	合 計	入所率
R3	1,994	640	18	16	674	33.80%
R4	1,964	621	20	31	672	34.22%
R5	1,913	611	20	32	663	34.66%
R6	1,825	599	24	32	655	35.89%
R7	1,735	647	23	26	696	40.12%

学童の家は、小学校の児童数が減少傾向にある中で、入所率が上昇しており、入所児童数は横ばいとなっている。

資料：こども家庭センター調べ（各年4月1日）

		R2	R3	R4	R5	R6	R7
宮古学童の家	全校児童数	231	212	214	204	192	183
	利用者数	91	83	76	88	81	79
	利用率	39.4%	39.2%	35.5%	43.1%	42.2%	43.2%
千徳学童の家	全校児童数	470	443	422	394	388	372
	利用者数	137	131	121	114	122	137
	利用率	29.1%	29.6%	28.7%	28.9%	31.4%	36.8%
山口学童の家	全校児童数	181	188	197	206	196	204
	利用者数	68	59	63	63	63	76
	利用率	37.6%	31.4%	32.0%	30.6%	32.1%	37.3%
鉾ヶ崎学童の家	全校児童数	132	135	123	119	111	102
	利用者数	31	35	30	25	22	33
	利用率	23.5%	25.9%	24.4%	21.0%	19.8%	32.4%
磯鷄学童の家	全校児童数	273	260	259	250	256	238
	利用者数	75	69	71	70	77	75
	利用率	27.5%	26.5%	27.4%	28.0%	30.1%	31.5%
崎山学童の家	全校児童数	156	151	154	158	143	143
	利用者数	51	62	64	57	56	68
	利用率	32.7%	41.1%	41.6%	36.1%	39.2%	47.6%

		R2	R3	R4	R5	R6	R7
花輪学童の家	全校児童数	148	155	154	155	147	140
	利用者数	80	74	71	72	71	79
	利用率	54.1%	47.7%	46.1%	46.5%	48.3%	56.4%
津軽石学童の家	全校児童数	130	129	148	139	130	115
	利用者数	32	43	45	34	27	25
	利用率	24.6%	33.3%	30.4%	24.5%	20.8%	21.7%
赤前学童の家	全校児童数	35	28	(閉館)			
	利用者数	8	2				
	利用率	22.9%	7.1%				
田老学童の家	全校児童数	108	104	93	87	73	73
	利用者数	19	27	25	28	30	28
	利用率	17.6%	26.0%	26.9%	32.2%	41.1%	38.4%
新里学童の家	全校児童数	62	72	71	70	61	52
	利用者数	32	37	35	40	26	24
	利用率	51.6%	51.4%	49.3%	57.1%	42.6%	46.2%
宮古養護 学童の家	全校児童数	73	78	72	76	64	66
	利用者数	15	12	11	13	13	17
	利用率	20.5%	15.4%	15.3%	17.1%	20.3%	25.8%
高浜児童館 (学童分)	全校児童数	39	35	42	40	38	37
	利用者数	22	17	19	15	18	19
	利用率	56.4%	48.6%	45.2%	37.5%	47.4%	51.4%
重茂児童館 (学童分)	全校児童数	61	52	56	59	58	50
	利用者数	1	1	1	5	6	4
	利用率	1.6%	1.9%	1.8%	8.5%	10.3%	8.0%
合 計	全校児童数	2,099	2,042	2,005	1,957	1,857	1,775
	利用者数	662	652	632	624	612	664
	利用率	31.5%	31.9%	31.5%	31.9%	33.0%	37.4%

※川井小学校児童数を含まない（放課後こども教室）

※恵風支援学校児童生徒数を含む（宮古養護学童の家）

資料：こども家庭センター調べ（各年4月1日）

3 施設及び運営費の状況

(1) 市立保育所

【市立保育所の施設状況】

施設名	構造	建築年月日	築年数 (R8.4月時点)
愛宕保育所	木造モルタル造平屋建	S42.11.30	58
山口保育所	木造モルタル造平屋建	S49.3.25	52
佐原保育所	木造モルタル造平屋建	S51.10.30	49
磯鷄保育所	木造モルタル造平屋建	S53.2.28	48
崎山保育所	木造モルタル造平屋建	S57.12.20	43
千徳保育所	木造平屋建	H8.3.20	30
新里保育所	鉄骨造平屋建	H13.3.12	25
小山田保育所	鉄骨造2階建	H21.3.7	17
田老保育所	木造平屋建	H28.1.21	10
津軽石保育所 ※	木造平屋建	H28.2.19	10
花輪保育所 ※	木造平屋建	R2.2.14	6
小国保育所	鉄骨造平屋建	H12.1.25	26

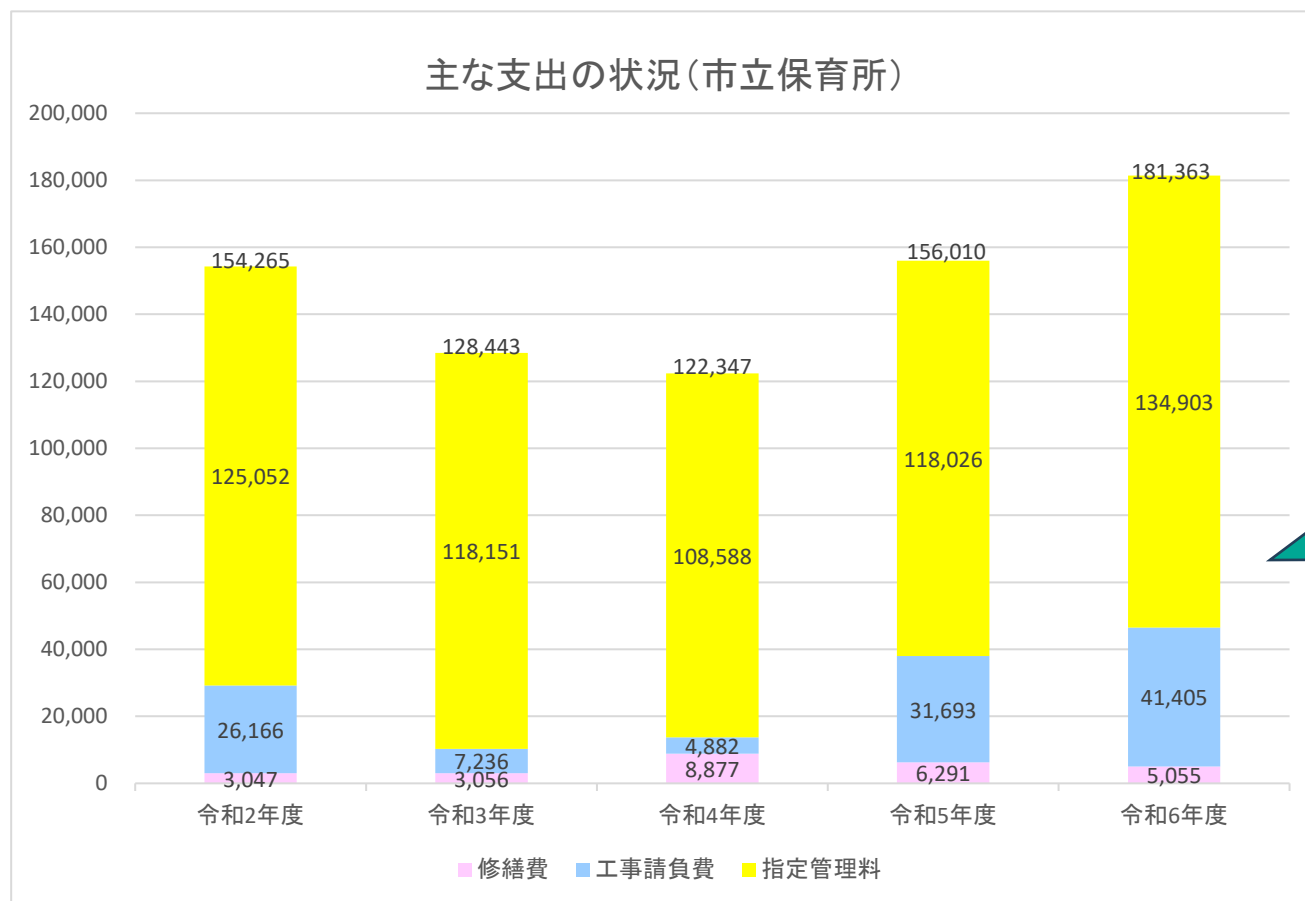
市立保育所は、建築から50年以上経過した施設もあり、老朽化が進んでいる。

※ 指定管理保育所

【市立保育所の主な支出の状況】

(単位：千円)

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
修繕費	3,047	3,056	8,877	6,291	5,055
工事請負費	26,166	7,236	4,882	31,693	41,405
指定管理料	125,052	118,151	108,588	118,026	134,903
計	154,265	128,443	122,347	156,010	181,363



保育所の施設型給付費以外の支出として多いのは、津軽石保育所、花輪保育所の指定管理料。

(2) 学童の家

【学童の家の施設状況】

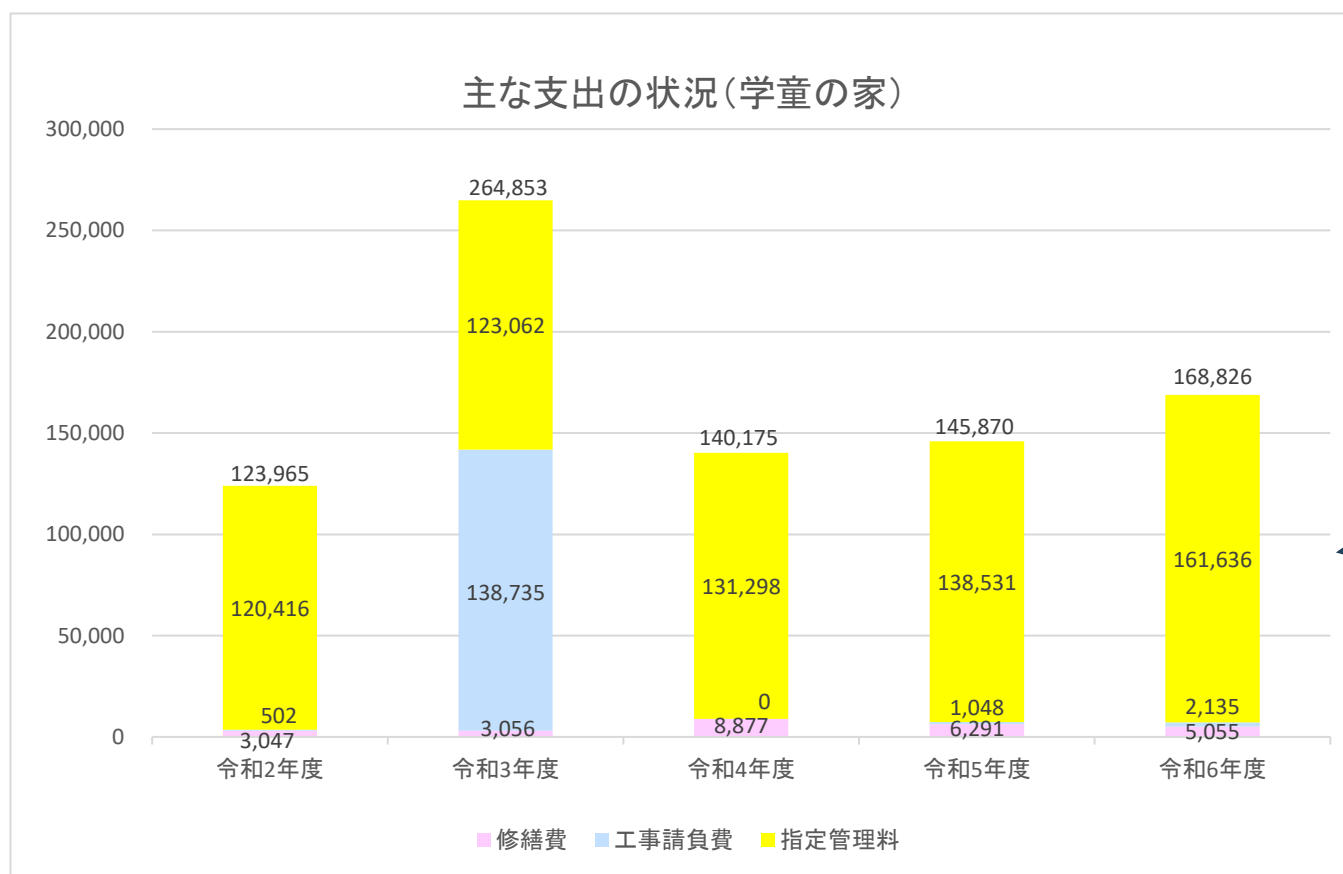
施設名	構造	建築年月日	築年数 (R8.4時点)
宮古学童の家	鉄骨造3階建校舎の一部	S41.3	59
千徳学童の家	鉄骨造3階建校舎の一部	S63.2.1	37
山口学童の家	鉄骨造3階建校舎の一部	S44.3.9	56
鍬ヶ崎学童の家	①木造モルタル造平屋建 ②軽量鉄骨造平屋建	①H7.1.29 ②H17.3.10	①30 ②20
磯鶏学童の家	①鉄骨造3階建校舎の一部 ②軽量鉄骨造平屋建	①S49.12.10 ②H16.2.29	①51 ②21
崎山学童の家	①鉄骨造3階建校舎の一部 ②軽量鉄骨造平屋建	①H4.1.31 ②H16.2.29	①23 ②21
花輪学童の家	①鉄骨造2階建校舎の一部 ②軽量鉄骨造平屋建	①H10.11.26 ②H28.10.27	①27 ②9
津軽石学童の家	軽量鉄骨造平屋建	H18.3.6	19
田老学童の家	鉄骨造2階建公民館の一部	S59.7.20	41
新里学童の家	軽量鉄骨造平屋建	H29.2.16	8
宮古養護学童の家	木造平屋建	H19.3.20	18

学童の家は、
・校舎等の一部利用が8か所
・プレハブ等単独施設が3か所
・併用が4か所
となっている。

【学童の家の修繕費支出状況】

(単位：千円)

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
修繕費	3,047	3,056	8,877	6,291	5,055
工事請負費	502	138,735	0	1,048	2,135
指定管理料	120,416	123,062	131,298	138,531	161,636
計	123,965	264,853	140,175	145,870	168,826



学童の家の支出として多いのは、指定管理料。

第4章 今後の在り方

1 市立保育所等

■現状と役割

- ・ **人口減少**が進んでおり、**今後も進んでいく**ことが見込まれる
- ・ 建築から50年以上経過した施設もあり、**施設の老朽化**が進んでいる
- ・ 民間施設も含め、**ほぼ全ての施設で児童数が減少**している
- ・ 三陸沿岸自動車道や宮古盛岡横断道路、北部環状線等の道路交通網の整備により、各保育施設間の**時間的距離が短縮**している

【市立保育所等に求められる役割】

- ①地域子育て支援事業の充実や特別な支援や配慮が必要な子どもへの対応など、民間保育施設では対応が難しいと考えられる部分を担う役割
 - ②民間保育施設の参入が見込まれない地域において保育の提供を担う役割
- ⇒ **今後も基幹的保育所を中心に、この役割を担っていく必要がある**

■方向性

- ・ 子育て環境の充実のため、**今後も保育の質を維持・向上し、様々な保育ニーズへの対応が必要**
- ・ 市立保育所等の役割を果たすため、**基幹的保育所運営を維持・継続する必要**がある
- ・ 人口減少が進む中、限られた財源で保育の量・質を維持するため、**運営の効率化**が求められる
- ・ 保育所の在り方の検討にあたっては、**財政負担の優位性が高い民間活力の活用を考慮**する必要
- ・ 待機児童解消を図ること等を目的とした**地域型保育事業所開設準備補助金の見直し**を検討する

■適正配置にかかる指針

【指針１】基幹的保育所の運営維持・継続

市立保育所等のうち、小山田保育所、千徳保育所、田老保育所及び新里保育所の４つの基幹的保育所は、求められる役割を踏まえ、計画的な改修により施設を維持し、様々な保育ニーズに対応しつつ、さらなる保育サービスの向上に努め、運営を継続する

【指針２】基幹的保育所以外の市立保育所等は個別に在り方を検討

市立保育所等のうち、基幹的保育所以外については、近隣の就学前児童数の状況や、民間保育施設の設置状況等の実情を勘案し、保育の質や量の確保見通しを見極めたうえで、存続や閉園又は民間活力へのシフト等を個別に検討する

【指針３】老朽化を踏まえた計画的な改修

今後も安心・安全な保育環境を維持していくため、市立保育所等適正配置実施計画を踏まえた計画的な改修を行う

2 学童の家

■現状と役割

- ・学童の家（その機能を担う児童館を含む）は、放課後子ども教室実施の川井小学校以外、**すべての小学校に設置されている**
- ・施設は、空き教室の利用やプレハブ等単独施設など形態は様々であるものの、**老朽化**が進んでいる
- ・**登録児童数は**、核家族化や共働き世帯の増加により、児童数減少傾向にある中、**横ばい傾向**である
- ・一部の施設において、入所児童数に対して施設が狭く、**スペースに余裕が無い**状況となっている
- ・対象児童は、児童福祉法に基づき、原則、労働等により**保護者が昼間家庭にいない児童**である
- ・保育要件に該当しない児童受入れのニーズがある

【学童の家に求められる役割】

- ①労働等により保護者が昼間家庭にいない児童の保育
- ②放課後等における「**すべてのこども**」の**安心・安全な居場所**

■方向性

- ・必要な学校への整備は済んでおり、**新たな設置の必要は無い**
- ・老朽化等の状況により、適宜、**修繕等が必要**
- ・保育要件に該当しない児童も含めた「**すべてのこども**」の**受け入れ体制の整備**
- ・余裕を持った受け入れや、保育要件の無い児童の受け入れを推進するため、受け入れ児童数に応じた**スペース及び支援員の確保が必要**

■適正配置にかかる指針

【指針１】学童の家の運営維持・継続

既存の学童の家（学童機能を担う児童館を含む）については、求められる役割を踏まえ、様々なニーズに対応しながら、サービスの維持・向上に努め、必要な修繕等を行い、当面、小学校１校に対して１施設を基本に施設を維持し、運営を継続する

【指針２】受け入れ児童数に応じたスペース等の確保

余裕を持った受け入れや、保育要件の無い児童の受け入れを推進するため、空き教室の活用なども検討しながら、受け入れ児童数に応じたスペース及び支援員を確保する

【指針３】保育要件の無い児童の受入れ推進

保育要件に該当しない児童受入れのニーズがあることから、受け入れスペースに余裕がある施設から、準備が整い次第、順次受入れを進める

Ⅱ 実施計画

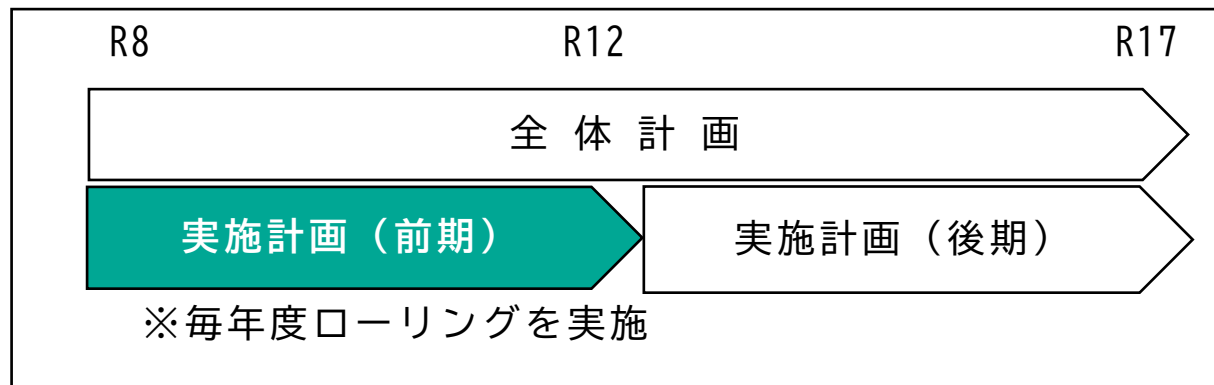
(令和 8 年度～令和 12 年度)

1 計画の趣旨

- ・施設の老朽化、児童数の減少を踏まえ、市立保育所の具体的な方向性を示すもの

2 計画期間

- ・令和8年度から令和12年度までの5年間



3 推進方法

(1) 教育・保育施設

① 指針

【指針1】基幹保育所の運営維持・継続

【指針2】基幹的保育所以外の市立保育所等は個別に在り方を検討

【指針3】公立民営保育所の運営手法の検討

【指針4】保育施設開所にかかる補助制度の見直しの検討

② 具体的施設

ア 山口保育所（前回計画からの継続）

イ 愛宕保育所（ 〃 ）

ウ 佐原保育所（ 〃 ）※取組内容変更

エ 磯鷄保育所（閉園）

オ 津軽石保育所（運営手法の検討）

カ 花輪保育所（ 〃 ）

キ 高浜児童館【幼児保育機能】（閉園）

(2) 学童の家

① 指針

【指針1】学童の家の運営維持・継続

【指針2】受け入れ児童数に応じたスペース等の確保

【指針3】保育要件の無い児童の受け入れ推進

② 具体的施設

ア 高浜児童館【学童機能】（閉園）

4 施設ごとの実施計画

(1) 山口保育所

①施設の状況

- ・築51年、老朽化と土砂災害危険箇所内の立地

建築年月日	開設年月日	構造	延床面積	建築経過年数
昭和49年3月25日	昭和49年4月1日	木造モルタル造平屋建	459.59 m ²	51年5月

②児童数の状況

年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	摘要
R7	1	4	3	9	11	10	38	廃止を説明して受入
R8	×	1	4	3	9	11	28	0歳児の新規入所申込停止
R9	×	×	1	4	3	9	17	0歳～1歳児の新規入所申込停止
R10	×	×	×	1	4	3	8	在園児は令和10年4月に転園

③適正配置の方向性

- ・**令和9年度末で閉園**とし、民間保育施設への転園希望者には一部費用助成する
(年度別計画)

計画年度	実施内容
令和8年度	転園先との交流会、0歳児、1歳児の受け入れを制限
令和9年度	転園先との交流会、転園費用の助成、閉園式

(2) 愛宕保育所

①施設の状況

- ・ 築 58 年、老朽化と土砂災害警戒区域内の立地

建築年月日	開設年月日	構造	延床面積	建築経過年数
昭和 42 年 11 月 30 日	昭和 43 年 4 月 1 日	木造モルタル造平屋建	301.42 m ²	58 年 9 月

②児童数の状況

(学区内児童の入所率)

- ・ R10 推計 学区内児童：2 名、学区外児童：3 名

区分	年度	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
学区内児童数（30.0%）	R7	1	0	1	0	1	0	3
学区外児童数（70.0%）		2	2	1	0	2	0	7
計		3	2	2	0	3	0	10
学区内児童数	R10 推計	0	1	0	0	1	0	2
学区外児童数		0	2	0	0	1	0	3
計		0	3	0	0	2	0	5
R7年度学区内児童の入所率		3.33%	0.00%	3.33%	0.00%	3.57%	0.00%	1.67%

③適正配置の方向性

- ・ 令和 9 年度末に閉園する方向で検討 する

(年度別計画)

計画年度	実施内容
令和 8 年度	保護者説明会、住民説明会、佐原保育所との交流会
令和 9 年度	佐原保育所との交流会、閉園式

(3) 佐原保育所

① 施設の状況

- ・ 築 49 年、老朽化、住宅地の立地、駐車場確保や近隣住民への配慮が課題

建築年月日	開設年月日	構造	延床面積	建築経過年数
昭和 51 年 10 月 30 日	昭和 52 年 4 月 1 日	木造モルタル造平屋建	423.99 m ²	49 年 5 月

② 児童数の状況

(前計画時の学区内児童数推計)

年度	6歳 (5歳児)	5歳 (4歳児)	4歳 (3歳児)	3歳 (2歳児)	2歳 (1歳児)	1歳 (0歳児)	合計
R4年度	19	14	20	16	17	11	97
							↓ 83.02%
R7推計	16	17	11	13	14	9	81

(実績値)



年度	6歳 (5歳児)	5歳 (4歳児)	4歳 (3歳児)	3歳 (2歳児)	2歳 (1歳児)	1歳 (0歳児)	合計
R5	13	19	11	16	10	11	80
R6	21	11	15	11	10	13	81
R7	9	14	9	11	9	14	66

(学区内児童の入所率)

- ・ R10 推計 学区内児童：16 名、学区外児童：7 名

区分	年度	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
学区内児童数（62.1%）	R7	1	6	2	4	3	1	17
学区外児童数（37.9%）		2	2	0	2	1	0	7
計		3	8	2	6	4	1	24
学区内児童数	R10 推計	4	3	1	4	3	1	16
学区外児童数		2	1	0	2	2	0	7
計		6	4	1	6	5	1	23
R7年度学区内児童の入所率		11.11%	42.86%	22.22%	36.36%	33.33%	7.14%	25.76%

③道路交通網の整備状況

- ・市道北部環状線（令和元年11月開通）を利用することにより、近隣の保育施設までの距離及び移動時間が短縮（北部環状線の開通前後における状況の変化）

項目 \ 地域	山口方面	西町方面	近内方面	千徳方面	【参考】崎山方面
開通前 距離/所要時間	4.8km / 13分	3.2km / 11分	7.1km / 13分	6.4km / 12分	3.8km / 6分
開通後 距離/所要時間	3.4km / 5分	4.0km / 6分	4.3km / 6分	6.2km / 9分	—
短縮状況	1.4km ↓ / 8分 ↓	0.8km ↑ / 5分 ↓	2.8km ↓ / 7分 ↓	0.2km ↓ / 3分 ↓	—

④適正配置の方向性

- 近隣の就学前児童数の状況や、民間保育施設の設置状況及び道路交通網の整備状況等を勘案し、保育の質や量の確保見通しを見極めたうえで、ニーズに応じた規模での **移転整備又は民間活力へのシフト等を検討** する（年度別計画）

計画年度	実施内容
令和8年度	状況確認、事業者との意見交換

（４）磯鶏保育所

①施設の状況

- ・築48年、老朽化、住宅地の立地、駐車場確保が課題

建築年月日	開設年月日	構造	延床面積	建築経過年数
昭和53年2月28日	昭和53年4月1日	木造モルタル造平屋建	372.65 m ²	48年1月

②児童数の状況

（前計画時の学区内児童数推計）

年度	6歳 (5歳児)	5歳 (4歳児)	4歳 (3歳児)	3歳 (2歳児)	2歳 (1歳児)	1歳 (0歳児)	合計
R4年度	44	40	45	37	38	30	234
							↓81.40%
R7推計	37	38	30	30	31	24	190

(実績値)



年度	6歳 (5歳児)	5歳 (4歳児)	4歳 (3歳児)	3歳 (2歳児)	2歳 (1歳児)	1歳 (0歳児)	合計
R5	38	47	39	38	31	35	228
R6	47	37	37	32	36	27	216
R7	36	36	27	35	28	20	182

(学区内児童の入所率)

区分	年度	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
学区内児童数（91.7%）	R7	4	6	5	10	6	2	33
学区外児童数（8.3%）		0	1	1	0	1	0	3
計		4	7	6	10	7	2	36
学区内児童数	R10 推計	10	6	2	8	5	2	33
学区外児童数		0	1	0	0	1	0	2
計		10	7	2	8	6	2	35
R7年度学区内児童の入所率		11.11%	16.67%	18.52%	28.57%	21.43%	10.00%	18.13%

(学区内の保育施設入所状況)

※ (入所児童数) / (利用定員)

年齢	①そけい幼稚園		② 小山田 保育所	③ ククナ の家	計	①～③の 余裕人数
	保育分	幼児教育				
0～2歳	3/9	-	33/60	8/15	44/ 84	40
3～5歳	37/41	25/25	49/60	-	111/126	15
計	40/50	25/25	82/120	8/15	155/220	65

認可定員70 認可定員80

R7.9.1現在

磯鶏 保育所 在園児
20/14
16/31
36/45

③適正配置の方向性

- ・ **R12年度末に閉園する方向で検討** する
- ・ 閉園の場合は、段階的な募集停止により、学区内の民間保育施設へのシフトを検討する

(年度別計画)

計画年度	実施内容
令和 8 年度	市民周知、保護者説明会、住民説明会、民間保育施設との調整、0 歳児の募集停止
令和 9 年度	市民周知、保護者説明会、民間保育施設との調整、0～1 歳児の募集停止
令和 10 年度	市民周知、民間保育施設との調整、0～2 歳児の募集停止
令和 11 年度	市民周知、民間保育施設との調整、0～3 歳児の募集停止
令和 12 年度	閉園式

(5) 津軽石保育所、花輪保育所

① 施設の状況

- ・指定管理者が運営
- ・保育の質及び量の確保を前提に、財政的負担を抑えることが可能な運営手法の検討が必要

施設名	建築年月日	開設年月日	構造	延床面積	建築経過年数
津軽石保育所	平成 28 年 2 月 19 日	平成 28 年 4 月 1 日	木造平屋建	481.12 m ²	10 年 1 月
花輪保育所	令和 2 年 2 月 14 日	令和 2 年 4 月 1 日	木造平屋建	546.75 m ²	6 年 1 月

② 児童数の状況

(R7.4.1 の入所児童数)

施設名	6歳 (5歳児)	5歳 (4歳児)	4歳 (3歳児)	3歳 (2歳児)	2歳 (1歳児)	1歳 (0歳児)	合計
津軽石保育所	7	7	9	5	4	2	34
花輪保育所	10	6	10	5	9	1	41

③ 指定管理の状況

単位：千円

施設名	R2	R3	R4	R5	R6	合計
津軽石保育所 花輪保育所	125,052	118,151	108,588	118,026	134,903	469,817

津軽石保育所：H28 年度に指定管理開始。現在 2 期目（1 期 H28～R2、2 期 R3～R7）
 花輪保育所：R 2 年度に指定管理開始。現在 2 期目（1 期 R2～R6、2 期 R7～R11）

④ 公私連携型保育所

ア 公私連携型保育所とは

- 市が、設置・運営主体となる民間法人与協定を締結し、運営する保育施設
- ・民間法人に土地や建物などの公有設備を無償又は安価に貸付・譲渡できる
 - ・適切な保育の提供のため、必要に応じて、運営に関与することができる
 - ・運営経費は、市からの施設型給付費

イ 公私連携型保育所と指定管理保育所の比較

項目	公私連携型保育所	指定管理保育所
1 根拠法令	児童福祉法（第 56 条の 8）	地方自治法（第 244 条の 2）
2 設置者	民間法人（公私連携保育法人）	市長
3 運営主体	民間法人（公私連携保育法人）	民間法人（指定管理者）
4 市との関係	協定締結	指定管理委託契約
5 土地や建物	所有者は、市又は民間法人 （市有の土地建物などを民間法人に対して無償又は安価に貸付け・譲渡が可能）	所有者は、市
6 施設整備や改修	小規模修繕は、民間法人（協定による） 大規模修繕は、市 ただし、建物所有者が民間法人の場合は民間法人が実施。その場合は国庫補助金あり（国 1/2、市 1/4、民間法人 1/4）	小規模修繕は、民間法人（委託契約による） 大規模修繕は、市
7 運営経費	市からの施設型給付費が財源 （国が定める公定価格に基づき算定。 <u>財源に国、 県の負担あり。負担割合 国 1/2、県 1/4、市 1/4</u> ）	市からの指定管理料が財源 （算定方法は施設型給付費と同じ。 <u>財源は全額一 般財源（交付税措置あり）</u> ）
8 運営への関与	関与あり	関与あり
9 運営期間	協定に定める期間 （一般的に数年～10 年程度。 <u>更新可能</u> ）	協定に定める期間 （一般的に 5 年間。期間終了後は <u>公募</u> ）

⑤ 今後の方向性

- ・公私連携型保育所等、運営手法の転換を検討する
（年度別計画）

計画年度	実施内容
令和 8 年度	指定管理者との協議、保護者説明会

(6) 高浜児童館

① 施設の状況

- ・ 築 49 年、老朽化、浸水区域の立地、主に学童の家機能での利用
- ・ 高浜小と磯鷄小は令和 8 年 4 月に統合
- ・ 指定管理者が運営（R6.4.1～R11.3.31）

建築年月日	開設年月日	構造	延床面積	建築経過年数
昭和 51 年 3 月 20 日	昭和 51 年 4 月 1 日	木造モルタル造平屋建	372.65 m ²	49 年 1 月

② 児童数の状況

（未就学児の利用）

施設名	R2	R3	R4	R5	R6	備考
幼児保育 利用児童数	0	0	0	0	0	利用登録者なし
うみねこキッズ 年間利用者数	-	962	1,085	699	256	子育て支援、 他世代間交流事業
1 日あたりの 利用人数	-	3.32	3.74	2.41	0.88	

（小学生（学童）の利用）

施設名	R3	R4	R5	R6	R7	R8希望者
高浜児童館	16	19	14	17	19	13

③ 今後の方向性

- ・ 令和 8 年度は継続、引き続き、9～10 年度の利用希望調査を実施
- ・ 並行して、**閉館する方向で検討**する
- ・ 閉館時期は、現 1 学年児童が 4 学年を修了する **R10 年度末**を想定